

第73回全日本女子ホッケー選手権大会

最終日

開催日時 12月2日(日) 会場 親里ホッケー場 天候 晴れ

< 決勝 >

コカ・コーラウエスト レッドスパークス	4	$\left(\begin{matrix} 2-1 \\ 2-1 \end{matrix} \right)$	2	ソニーHC BRAVIA Ladies
	1	PC	8	
	5	シュート	8	

得点	コカ → 1分新井、34・67分金、54分大田 ソニー → 18分飯村、38分中島
戦評	<p>今年三冠(日本リーグ・全日本社会人)を狙うコカと、7年連続15度目の優勝を狙うソニーの5年連続5度目の決勝戦が開始された。コカは開始早々1分、サークル内でパスを受けたFW三橋がゴール前のFW新井にパス。新井は冷静にシュートを決め貴重な先制点を手に入れる。直後にソニーはPCを獲得。しかし、コカの堅い守備に阻まれ得点することが出来ない。このままコカが波に乗るかと思われたが、ソニーは18分にチャンスを得る。MF中川の正確なセンタリングをMF飯村はスウィープシュートで絶妙に決め同点に追いつく。その後は優勢にゲームコントロールする。コカは守りながらカウンターチャンスを探る。コカは33分、FB朴の右サイドへのロングパスをFW金が抜群の走力を活かして受け、ドリブルでサークル内に侵入。そのまま金は強烈なヒットシュートを左下に決め2-1とする。そのまま前半は終了し2-1で折り返す。</p> <p>同点に追いつきたいソニーは後半開始直後、FB村上のセンタリングをFW中島がタッチシュートでゴール左中段に決め同点に追いつく。猛攻撃を仕掛けるソニーは9分にPCを獲得。しかし、またもコカの堅い守りにより得点できない。その後は一進一退の攻防を繰り広げどちらも流れを譲らない展開となる。そんな中、先にチャンスを得たのはコカ。54分にPCを獲得。FB朴のシュートのリバウンドをFB大田が押し込み3-2とリードする(準決勝からコカのPC決定率は100%)。ソニーは65分からGKに変えフィールドプレイヤーを入れ、パワープレーを仕掛け逆転を狙う。しかし勢いにのるコカは、FW金がソニー及川からボールを奪い無人のゴールにシュートを決め4-2とし勝利を決定づける。ソニーは試合終了間際にPCを獲得するが決めることができずそのまま試合終了。4-2とコカが勝利し、大会初優勝及び三冠(日本リーグ・全日本社会人大会)を達成した。</p>

テクニカルオフィサー	今庄充世	アンパイア	相馬知恵子
ジャッジ	我妻活美、西上英雄		安岡裕美子